



須田さんオリジナルの子ども用乳歯入れです。

現代いまを生きる

## 田園風景の中で理想の家具作り

家具工房  
旅する木 

<http://tabisuruki.com/index.html>

### 須田 修司さん (東裏)

長野県出身で、テレビドラマ「北の国から」と広大な大地の魅力に惹きつけられて北海道へ移住した須田さん。旭川で家具作りを始め、札幌のたまねぎ倉庫へ移り、去年の11月からは、旧東裏小学校で家具作りをスタートしました。

#### 家具作りを始めたきっかけは

木が大好きで、ずっと木のおもちゃで遊んでいるような子どもでした。でも、職業にしようとは思ってはなく、理工系の大学へ進学してカメラメーカーに就職をしたのですが、軽量化や効率化のみを目指したものの作りに疑問を持ち、退社しました。

家具は、人や家に合わせてサイズや使い易さなどを考えながら作るの、自分の生き方に合っていると感じ、この道に進みました。

家具作りでは、木の特性を最大限に発揮させ、長く使える製品を作ることやオーダーの良さを感じてもらおうと、お客さんとの打ち合わせで感じたことをデザインすることで愛着の沸くようなものを作ることを心がけています。

#### なぜ旧東裏小学校で家具を作ろうと思ったのですか

3年前に独立して、札幌市東区のとまねぎ倉庫で家具作りをしていたのですが、札幌近郊で家具作りに適した場所を探していたときに妻が「廃校なんでいいんじゃないの」とアドバイスをくれました。

東裏小学校に一度足を運び、平屋の校舎や木造の体育館が気に入って、是非ここで家具を作りたいと思いました。

多くの人から、なぜ商売をするのに人が多い札幌から当別へ行くのかと言われたのですが、景色のすばらしいところで家具を作ることが都会の人へのPRになると思っています。地域の方がたくさん協力してくれて本当に地域の温かさを感じています。3月末に家族で当別に引越す予定です。

#### どのような活動をするのですか

家具を作るということだけでなく、家族で遊びに来れるような家具屋さんになりたいと考えています。

お父さん向けには売り物と変わらない本格的な物を作って充実感を味わえるような木工教室、その間、お母さんは、ティータイムでゆっくりくつろげるようなイメージです。子ども向けにも、木のおもちゃで遊べるようなスペースを作りたいと考えています。

現在は、地元の方と旧東裏小学校の利用方法や、東裏地域で取り組んでいる亜麻と家具を結びつけることができないかなど、地域の活性化について話し合っています。

みんなで協力しながら人が集まる場所にしたいですね。